

2020年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2020年5月13日

上場会社名 名南M&A株式会社 上場取引所 名
 コード番号 7076 URL <https://www.meinan-ma.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 篠田 康人
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 青木 将人 TEL 052-589-2795
 四半期報告書提出予定日 2020年5月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2020年9月期第2四半期の業績（2019年10月1日～2020年3月31日）

（1）経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|---------------|-----|---|------|---|------|---|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2020年9月期第2四半期 | 945 | — | 461 | — | 446 | — | 273 | — |
| 2019年9月期第2四半期 | — | — | — | — | — | — | — | — |

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2020年9月期第2四半期 | 185.51 | — |
| 2019年9月期第2四半期 | — | — |

（注）1. 2019年9月期第2四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2019年9月期第2四半期の数値及び2020年9月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

（2）財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | |
|---------------|-------|---|-------|---|--------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2020年9月期第2四半期 | 1,447 | — | 1,046 | — | — | 72.3 |
| 2019年9月期 | 492 | — | 321 | — | — | 65.3 |

（参考）自己資本 2020年9月期第2四半期 1,046百万円 2019年9月期 321百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2019年9月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 2020年9月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 2020年9月期（予想） | — | — | — | 10.00 | 10.00 |

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年9月期の業績予想（2019年10月1日～2020年9月30日）

（%表示は、対前期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|-------|------|------|------|------|------|-------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 1,087 | 35.8 | 229 | △2.9 | 213 | △9.5 | 140 | △9.5 | 95.68 |

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|------------|------------|------------|------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2020年9月期2Q | 1,560,850株 | 2019年9月期 | 1,314,850株 |
| ② 期末自己株式数 | 2020年9月期2Q | 76株 | 2019年9月期 | －株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 2020年9月期2Q | 1,472,139株 | 2019年9月期2Q | －株 |

（注）2019年9月期第2四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2019年9月期第2四半期の期中平均株式数（四半期累計）については記載しておりません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|--------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期損益計算書 | 5 |
| 第2四半期累計期間 | 5 |
| (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 | 6 |
| (4) 四半期財務諸表に関する注記事項 | 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 7 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、企業業績や雇用情勢の改善傾向が見られるなど堅調に推移していたものの、新型コロナウイルスの世界的な流行により、個人所得の減少や企業の設備投資の慎重化等先行き不透明な状況が続いております。

M&A業界におきましては、東京商工リサーチの「2019年後継者不在率調査」によると、日本の中小企業の55.6%が後継者不在と半数以上の企業に及び、2018年の休廃業・解散件数は、過去最高の46,000社を超えました。

一方、経営環境の先行き不透明感や株式市場の乱高下による社会情勢の中、M&Aによる譲受について慎重な意見も見られるものの、中小企業庁による経営資源引継ぎや事業再編の後押し支援策や中小M&Aガイドラインの策定等、行政による事業承継推進により国内市場の拡大と健全な競争環境維持のためにも事業譲渡などのM&Aの促進が一層求められる状況となっております。

このような情勢のなか、当社は金融機関や会計事務所等の提携先との一層の関係強化に取り組むとともに、ダイレクトメールの送付やセミナー開催等のダイレクトアプローチを強化することにより、M&Aニーズの獲得を図りました。医療・介護業においては、業種特化の専門チームを編成し、専門性の高いアドバイザーが対応しております。また、関西地方でのM&Aニーズの増加に対応するため、2019年4月に大阪オフィスを開設いたしました。

また、「東海地方に根ざしたM&A会社」として信頼度、認知度向上を図るため2019年12月2日付で名古屋証券取引所セントレックスへ上場いたしました。より優秀な人材を確保するとともに、営業体制を強化し受託案件の増加に対応するため、当第2四半期累計期間においてはM&Aコンサルタントを5名増員いたしました。

この結果、当第2四半期累計期間においては計42社の案件が成約し、売上高945,773千円、営業利益461,144千円、経常利益446,983千円、四半期純利益273,094千円となりました。

なお、当社はM&A仲介事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしておりません。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末における財政状態は、総資産1,447,629千円、負債400,820千円、純資産1,046,808千円であり、自己資本比率は72.3%(前事業年度末は65.3%)となりました。財政状態の状況と、その要因は下記のとおりであります。

(資産の部)

流動資産につきましては、前事業年度末に比べ939,349千円増加し、1,342,922千円となりました。これは主として現金及び預金が883,460千円増加、売掛金が53,909千円増加したことによるものであります。

固定資産につきましては、前事業年度末に比べ15,973千円増加し、104,707千円となりました。これは主として、繰延税金資産が17,469千円増加したことによるものであります。

(負債の部)

流動負債につきましては、前事業年度末に比べ230,069千円増加し、400,820千円となりました。これは主として未払法人税等が109,475千円、賞与引当金が53,244千円増加したことによるものであります。

(純資産の部)

純資産につきましては、前事業年度末に比べ725,252千円増加し、1,046,808千円となりました。これは主として資本金が226,320千円、資本剰余金が226,320千円、及び利益剰余金が273,094千円増加したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は前事業年度末に比べ883,460千円増加し、1,273,614千円となりました

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は438,523千円となりました。これは主に、税引前当期純利益446,983千円、及び賞与引当金の増加53,244千円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は2,418千円となりました。これは、有形固定資産の取得による支出2,340千円、差入保証金の差入による支出77千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は447,355千円となりました。これは主に、株式の発行による収入447,630千円によるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年9月期の業績予想につきましては、2019年12月2日の「名古屋証券取引所セントレックスへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありませんが、今後、新型コロナウイルス感染症の動向によって変動する可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

| | 前事業年度 (2019年9月30日) | 当第2四半期会計期間 (2020年3月31日) |
|--------------|-----------------------|----------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 390,153 | 1,273,614 |
| 売掛金 | 3,348 | 57,257 |
| 貯蔵品 | 1,798 | 2,889 |
| その他 | 8,273 | 9,161 |
| 流動資産合計 | 403,573 | 1,342,922 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 19,540 | 19,367 |
| 無形固定資産 | 7,055 | 5,998 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 3,566 | 3,222 |
| 差入保証金 | 41,092 | 41,169 |
| 繰延税金資産 | 17,479 | 34,949 |
| 投資その他の資産合計 | 62,138 | 79,341 |
| 固定資産合計 | 88,734 | 104,707 |
| 資産合計 | 492,307 | 1,447,629 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 未払費用 | 38,675 | 81,931 |
| 未払法人税等 | 90,422 | 199,897 |
| 未払消費税等 | 24,256 | 54,325 |
| 預り金 | 9,957 | 3,982 |
| 賞与引当金 | 7,440 | 60,684 |
| 流動負債合計 | 170,751 | 400,820 |
| 負債合計 | 170,751 | 400,820 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 42,774 | 269,094 |
| 資本剰余金 | 8,944 | 235,264 |
| 利益剰余金 | 269,300 | 542,394 |
| 自己株式 | - | △274 |
| 株主資本合計 | 321,019 | 1,046,479 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 536 | 329 |
| 評価・換算差額等合計 | 536 | 329 |
| 純資産合計 | 321,555 | 1,046,808 |
| 負債純資産合計 | 492,307 | 1,447,629 |

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

| | 当第2四半期累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日) |
|--------------|--|
| 売上高 | 945,773 |
| 売上原価 | 334,098 |
| 売上総利益 | 611,674 |
| 販売費及び一般管理費 | 150,530 |
| 営業利益 | 461,144 |
| 営業外収益 | |
| 受取利息及び配当金 | 19 |
| 雑収入 | 30 |
| 営業外収益合計 | 49 |
| 営業外費用 | |
| 株式公開費用 | 9,199 |
| 株式交付費 | 5,009 |
| 営業外費用合計 | 14,209 |
| 経常利益 | 446,983 |
| 税引前四半期純利益 | 446,983 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 191,222 |
| 法人税等調整額 | △17,332 |
| 法人税等合計 | 173,889 |
| 四半期純利益 | 273,094 |

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 当第2四半期累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日) |
|-------------------------|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | |
| 税引前四半期純利益 | 446,983 |
| 減価償却費 | 3,571 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | 53,244 |
| 受取利息及び受取配当金 | △19 |
| 株式交付費 | 5,009 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | △53,909 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | △1,091 |
| 未払費用の増減額 (△は減少) | 43,255 |
| 未払消費税等の増減額 (△は減少) | 30,068 |
| その他 | 1,815 |
| 小計 | 528,929 |
| 利息及び配当金の受取額 | 19 |
| 法人税等の支払額 | △90,424 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 438,523 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △2,340 |
| 差入保証金の差入による支出 | △77 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △2,418 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | |
| 株式の発行による収入 | 447,630 |
| 自己株式の取得による支出 | △274 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 447,355 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 883,460 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 390,153 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 1,273,614 |

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年12月2日に名古屋証券取引所セントレックスに上場いたしました。

上場にあたり、2019年11月29日を払込期日とする有償一般募集増資（ブックビルディング方式による募集）による新株式180,000株の発行により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ165,600千円増加いたしました。

また、2019年12月25日を払込期日とする第三者割当（オーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資）による新株式66,000株の発行により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ60,720千円増加いたしました。

この結果、当第2四半期会計期間末において、資本金は269,094千円、資本剰余金は235,264千円となっております。